

第6回教員研修事業アンケート回答

初任者

Q1参加動機	Q2感想等	Q3学習素材としての活用意向	Q4実施内容案または課題	Q5湿原の教育的な価値
野外活動であること。自分の地元のことをもっと良く知りたいという気持ちから	初めは軽い気持ちで参加したのですが、学ぶことが非常に多くて嬉しい驚きでした。	ぜひ実施してみたい	学年によってねらいや活動は異なるかと思うのですが、小学校の6年間を通じて毎年足をはこび、ステップアップしていけたらいいと思いました。	どのようなねらいであっても、フィールドとして活用できるという点。釧路が誇れる場所だという点。
釧路湿原を見たことはあるのですが、体感したことはなかったのです。	とても楽しかったです。水深によって植物が違ったり、40年の月日をかけて水が湧き出ることを初めて知りました。	検討していきたい	交通手段、学校でのプログラムとの関連	地元を知る上で、とても大切なものであると思います。また、環境保全という観点からも使用できるものであると思います。
釧路管内での勤務となり、地元が釧路ではなかったため、釧路のことをよく知るためにも、この講座に参加したいと思いました。	多様なトンボやアメンボ、鳥、見ることは出来ませんでした。ガリガニなどの生き物を見つけることができ、子ども達に見せてあげたいと思いました。湧き水も水量や水質を調べることで、ただ”きれいだね””冷たいね”で終わることなく、科学的に見ることができ、生活との関わりも感じる事が出来ました。	検討していきたい	生活科、理科、社会で大変実感を持って学ぶことができ、1～6年生までを通して扱うことで学びが深まると感じ、ぜひ扱ってみたいと思いますが、カリキュラムや物理的な問題も感じました。	生き物(植物、虫、鳥)、水、生態系
同僚からの勧め	水深や酸性度、湧水の量など、実際にはかかる活動がおもしろかったです。持ち運びの簡単な道具を用意しておくことで遠足でも楽しむことができると感じました。	検討していきたい	実際の活動をするには阿寒からの移動は難しいと感じました。ですが、写真のデータをいただけるとのこと、そのデータはぜひ授業に活用したいと思います。	1. 自然から感じられるものが多い点 2. 生物の多様性や自然の仕組みを観察できる点 3. そこに暮らす人の工夫や努力を知ることができる点だと感じます。
体験活動に大変興味があったから	今回、自分が体感したことを全て生徒達に伝えていきたいなと考えました。生徒達が環境と向き合い、問題意識や美しさを感じてもらえるような教育実践をしたいなと考えました。	ぜひ実施してみたい	具体的にはすぐ思い浮かびませんが、例えば、今回のような環境の美しさなどを感じるだけでなく、問題も感じさせ、これからどう向き合うかを考えさせるような内容にしたい。	1. 身近に今環境はどう変化しているか、自分達の営みとどれだけ関係しているかを知る価値 2. 自然の営みの美しさとしての価値
釧路市民にも関わらず、実際に湿原に行ったことは一度しかなかったのです。	とても楽しい研修になりました。実際に様々な体験をすることができ、とても貴重な経験となりました。今後、学校に戻り、生徒に伝えられることは伝え、実際に体験させてあげられればと思います。	検討していきたい	実際に生徒100人近くを動かすには、事前の打ち合わせがかなり必要となってしまふ。	自然に触れられることが1番だと思います。木や湖、動物など、様々な自然に触れることのできる貴重な場所だと感じました。また、ボランティア活動など、道徳的な学習をできるのも素晴らしいことだと思いました。
理科教員として研修を深めたいと思った。	カヌー体験を通して、科学的な思考を育てていくという良い教材に出会えた。	検討していきたい	・市内の中学校の移動をどうすれば良いか ・授業を行う時期、時数、学校行事との関連 ・安全面など	普段何気なく存在している身の回りの自然の豊かさに我々は支えられて生活しており、湿原もその1つだと思ふ。湿原の自然体験を通して、科学的な思考を育てる1つの授業が出来ると思ふ。
「体感！釧路湿原」というタイトルに惹かれました。	晴天になったということもあり、最高の経験が出来ました。湖の深さにより植生が違うのはなぜなのか、雨水が湧水となって流れ出るのに、なぜ30年もかかるのか、オオハンゴンソウの駆除作業の効果はどうか、どこまでを目標とするのかなど疑問も感じました。	検討していきたい	まるごと湿原を教材にするのは力不足で困難。湿原に関わる内容を色々な場面でポツンポツンと扱うのが精一杯かなと思います。	日本列島の生い立ちの最後の部分で生み出された、湿原の歴史性、動植物の豊かさ、湿原と人々の関わり当、いくらでも教材化は可能だとは思いますが。

Q1参加動機	Q2感想等	Q3学習素材としての活用意向	Q4実施内容案または課題	Q5湿原の教育的な価値
カヌー体験に興味があったから	カヌーの乗れたこと以上に、カヌーに乗って湖に生息する植物や湧き水についてなど学ぶことができ、とても楽しかったです。	検討していきたい	時数がとれるかが課題。何の教科で取り組むのか、カリキュラムがあるので計画を検討する必要があります	湿原を通して環境問題、特別な生き物に触れ合うことができること。
初任者研修の講座にあり、興味を持ったので。	外来種の話、カヌーでの話、湧き水など、教科学習でのきっかけになる話を多く得ることができて良かった。自分が楽しめた体験を子どもに聞かせ、様々な部分で活用できればと思う。	検討していきたい	費用や場所などの問題。カリキュラム、時数の問題	見る、聞く、体験できること。多くの部分に価値がある。

初任者以外

自然再生について、とても興味がある	とても楽しかった。人が自然に与えるダメージの大きさ、森や湿原をもとの姿に戻す事の難しさを感じた。	検討していきたい	交通	人と自然との関わり方
湿原の教育に興味があった。	自然に思い切り親しむことができ、有意義な時間だった。子ども達にこの体験で得た自然の良さを伝えていきたい。	検討していきたい	時間的、予算的な課題	自然に触れ合うことで豊かな心が育まれる。「本物」動植物の息吹を感じられる。生物多様性の良い体験教材に成りうる。
釧路湿原について体感できるということで、興味を持ちました。	午前中のカヌー体験、水深による植物の住み分け、水の湧く所など、とても気持ち良く学習しました。午後のオオハンゴンソウ駆除体験を通して外来生物の大変さを知りました。	検討していきたい	1.体験させるための移動手段(時間、お金) 2.児童の安全面、学級40名に対して何人指導者が	自然、人間との関係など
釧路に住んでいながら湿原に入ることは、ほとんどありませんでした。そこで、子ども達の教材として自分の知識として湿原を体験することが重要と考えました。	とても楽しい充実した1日でした。	実施は困難	時間設定、カリキュラムの位置づけなど、いろいろですが、今年は小学校1年生担任なので、ちょっと難しいです。高学年であれば、多少無理をきかせたいです。	身近な自然、生物多様性、外来種のことなど、こんなに近くにあるのに、体験することがほとんどないのは本当にもったいない。
体験することを重視し、学習したかったので	とても良かった。疲れましたが、改めて考える環境問題でもあった(外来種の)いろいろな視点から子ども達に話せそう	検討していきたい	体験活動	自然、本来の姿、人による影響
釧路湿原に興味があり、個人では体験できない活動の機会となるから	釧路湿原を様々な側面から体感でき、大変楽しく学習できました。	検討していきたい	学年を一緒に組む先生方の理解、体験のための移動手段	・環境と生活の関わり ・環境や産業を守る人材によるキャリア教育
釧路湿原等、自然に興味があり、学校の子ども達にも還元できればと思い参加	天気も良く最高の1日でした。塘路湖の自然について詳しく知ることができ、とても勉強になりました。ハンゴンソウがこんなに増えていることは驚きでした。	ぜひ実施してみたい	実際に湿原に出むくということとはできないと思いますが、いろいろな学習の中で触れていくことが出来ると思います。釧路湿原について、少しでも子ども達が興味を持ってくれれば良い。	釧路の子ども達にとっては身近にある大きな自然です。他では見られない沢山の動植物を守れたら良いです
外に出る活動が好き。自然に関わることを勉強したい。	とてもたくさんの活動ができ、とても良かった。	ぜひ実施してみたい	理科、社会、総合で導入。総合では標茶町(釧路湿原含む)の自然、動植物、歴史などを考えます。	岩保木での植樹(昔参加しました)なども含め、体験から得られることを中心に考えていきたい。
単純に興味があったから	大変貴重な経験であった。	検討していきたい	実際湿原に行くとなると、交通手段等、現実的な問題が立ちほだかる	無限大。教師の着眼点によって無限に広がる